



観 光
K A N K O
た だ 力
T A K A S A K I
さ ぎ

春

2021

vol 154

お花畑や観光農園で
こころもおなかも大満足。

春満喫のさんぽ旅！

花も果実も楽しめる

鼻高町・乗附町

高崎で春を満喫。



春の風に誘われてお出かけしたくなる季節です。でも、こんな時期だから遠出や名所に行くのは憚られる…。だったら近隣に目をむけてみませんか。高崎市街地からもすぐ行ける場所でも、お花畑やフルーツ狩りが楽しめます。たかさきの春を探しにいきましょう。



季節ごとに変化するカラフルな花畑

鼻高展望花の丘



観音山丘陵に広がる「鼻高展望花の丘」は、その名の通り、四季折々の花を一年中楽しめる場所。荒廃した古里を活性化すべく、地域住民が花の景観づくりに取り組むことを目的として2001年に設立された市民団体「NPO法人鼻高町をきれいにする会」が丹精をこめて整備しています。春は菜の花。広大な敷地が目をみはるような黄色と空の青のコントラストが見事。今年も「菜の花祭り」が4月10日(土)～5月5日(水)まで鼻高町地域づくり活動協議会と共催で開催されます。園内は遊歩道も完備されているのでゆったりと巡ったり、花のなかでの写真撮影ができるのも嬉しい。晴れていれば、四方を囲む山々の大パノラマがのぞめるのも楽しみのひとつです。

開花
時期

【菜の花】4月上旬～5月上旬 【コスモス】9月中旬～10月中旬
その他にネモフィラ、パンジー、ピオラ、ポピー、ひまわりなど
※イベント内容は変更する場合があります。

鼻高展望花の丘 ● 高崎市鼻高町1400

【施設案内】 入場無料／駐車場有(300台)／トイレ有／ペット同伴可(休憩所のみ不可)

【お問い合わせ】 NPO法人 鼻高町をきれいにする会

● ブログ : <https://ameblo.jp/mino-totuka/> ● TEL.090-3246-8088

高崎市HP▶



黄色一色の花畑と青空、はるかにみえる上毛三山は、たかさきの春景色



秋は40万本ものコスモスが咲きほこります。9月～10月に開催されるコスモスマつりでは花の迷路や花の種プレゼントも楽しみのひとつです。



高崎市には季節を満喫できる施設が数多くあります。その中から、今回は近くて便利なお出かけエリア、鼻高町・乗附町にスポットをあてます。市民が育んだお花畑、十数種類に及ぶさくらんぼ狩りができる観光農園、初心者でも楽しめる都市型キャンプ場など、観音山丘陵にひそむ魅力にせまります。



豊かな自然の中で育まれる
美味しいヨーグルトやジェラート

長坂牧場 [みるく工房タンポポ]

鼻高展望花の丘の隣にある「長坂牧場」。牧場内にある「みるく工房タンポポ」はぜひ訪れてほしいお立ち寄りスポットです。

牧場でとれた新鮮なミルクを使用した「飲むヨーグルト」は「タンポポ」の看板商品。とろ〜り濃厚ですっきりとした甘みと酸味が絶妙です。その秘密は乳酸菌、一番おいしいところを見極める職人の技だとか。フレッシュな素材を厳選したジェラートや牧場チーズもすべて手作り、一度食べたらやみつきの逸品ぞろいです。



看板商品の飲むヨーグルト
150ml 130円(税込)、900ml 570円(税込)



ソフトクリームもおすすめ!
ミルク味のみ280円(税込)



長坂牧場 みるく工房タンポポ

- 高崎市鼻高町1380
- TEL.027-310-3011
- 営業時間: 10:00~18:00
- 定休日: 12月31日・1月1日





雄大な自然に囲まれた観光農園で過ごす
おいしくて楽しい時間

希望の丘農園

上毛三山をはじめ八ヶ岳や浅間山、谷川岳などが見渡せる雄大な景色が望める観光農園。総面積は東京ドーム4個分という広大な敷地内で、大自然を満喫しながら季節のフルーツ狩りやバーベキューなどが楽しめます。

人気のフルーツ狩りでは、有機栽培にこだわったサクランボやブルーベリー、キウイフルーツが登場。なかでも、農園の名物となっているサクランボは平均糖度25度以上を誇り、その特別な甘さを味わいに県外からも観光客が訪れるほど評判を呼んでいます。

農園散策の後は、ソフトクリームや土産物を販売している売店に立ち寄るのも忘れずに。園内の畑で収穫された果物や野菜、キノコなどの新鮮な農産物をはじめ、ジャムや乾物といった手作りの加工品が購入できます。



最大15組、300名まで収容可能なバーベキュー場。時間制限なく利用できるため、食事をしたり目の前の芝生広場で体を動かしたりと一日たっぷり遊べるのも魅力。
【バーベキュー場(完全予約制)】
●利用料(税込み)：中学生以上1,100円、3歳～小学生600円 ●営業時間：夏季9時30分～16時、冬季9時30分～14時



ミルクソフトにフローズンのイチゴやブルーベリーをトッピングした「特製つぶベリソフト」350円(税込み)。フルーツ狩りもしくはバーベキュー利用時は1人ひとつがサービスとして付く



希望の丘農園

- 高崎市鼻高町1523-1
- TEL.027-386-3081
- 営業時間：
夏季(3月上旬～11月)9時～17時、
冬季(12月～3月上旬)9時30分～15時
- 定休日：木曜(冬季のみ)

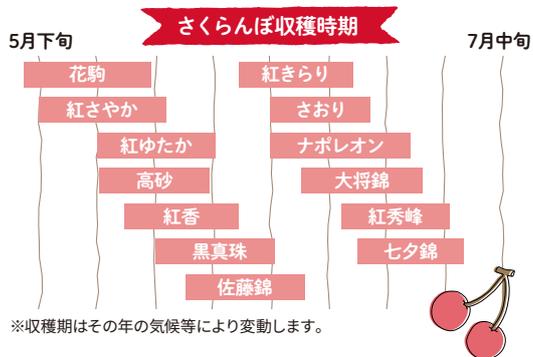


自然と触れ合いながら
心もおなかも満タンに

さくらんぼ狩り



4.5ヘクタールの敷地に植えられたサクランボの木は約1500本18種類。佐藤錦や紅秀峰といった代表的な品種から、紅香、紅ゆたか、紅さやかといった珍しい品種まで揃うため、味の違いを食べ比べてできます。



期間：5月下旬～6月下旬

料金(税込み)：小学生以上2,200円、3歳～未就学児1,200円

制限時間：入園30分食べ放題 予約：団体の場合は要予約

★つぶベリソフト付き

ブルーベリー狩り



約10,000株のブルーベリーを栽培。園内各地に点在するブルーベリー畑を、時間制限なく自由に歩き回って摘み取り体験ができます。夏の太陽をたっぷり浴びて育った大粒の実は、甘みがギュッと詰まっています。食べ応えも抜群。

期間：6月～8月

料金(税込み)：中学生以上1,200円、小学生600円、
3歳～未就学児350円

制限時間：なし 予約：団体の場合は要予約

★つぶベリソフト付き



こちらも注目



秋が旬のキウイ狩りでは「レインボーレッド」と呼ばれる果肉の中心部が赤く甘みが強い新品種にも出会える！
期間：10月中旬

乗附町方面

NOTSUKE

市街地からすぐ!気軽に自然と触れ合える
市民憩いのキャンプ場

観音山キャンプパーク ジョイナス

高崎観音山丘陵の豊かな自然の中に造られたキャンプ場。市街地から車で約20分というアクセスの良さから、ファミリー層をはじめソロのキャンパーまで幅広く人気を集めている。敷地内にはテントサイト15区画、オートキャンプサイト6区画、バンガロー11棟を完備。車が横付けできるオートサイトでは電源の使用が可能のため、キャンプ初心者でも気軽に挑戦できます。また、野外バーベキュースペースやローラー滑り台のあるわんぱく広場などもあるため、小さな子供連れでのピクニックや日帰りバーベキューなどにもオススメです。

観音山キャンプパークジョイナス

- 高崎市乗附町4045番地
- TEL.027-328-6600
- 開園時間 9:00~18:00
- 宿泊施設 IN 13:00~16:00 / OUT 10:00
※7月20日~8月31日(夏休み期間中)は、午後9時まで開園します。
- 休園日 毎週火曜日(ただし、7・8月は毎日開園します)
年末年始(12月28日~1月5日)



緑に囲まれたキャンプサイト。区画で区切られているためプライバシーがしっかり守れます。お気に入りのキャンプ用品で空間を飾って、思い思いの時間を過ごそう。



4月から5月には、オートサイトの各区画内に植えられたヤマザクラが見ごろに。満開の桜の木の下にテントを張り、お花見を楽しむのも◎。



高崎市HP▶



アカシア蜜 130g・230g



ハチミツは自然からの贈りもの

つきすみハチミツ Nakazawa Bee Farm

「子供たちの笑顔に出会いたい、ハチミツの自然の味を伝えたい」という思いから、2016年に中澤さん夫妻が始めた養蜂園です。高崎観音山周辺は春から初夏にたくさんの花が咲きます。ハチたちがせっせと集めたクセのないまろやかなアカシア蜂蜜、香り豊かな百花蜜(ヤマザクラ・菜の花・エゴ・モチ等)はどれもやさしい味わいです。

ナカザワ ビーファーム

- 高崎市乗附町1424-7 ● TEL.090-7184-9360
- 営業時間:9:00~18:00 ※来店の際は要連絡 ● 定休日:不定休
- 「高崎じまん(高崎オーパ1F)」でも一部取り扱っています。



雪が降り積もったように真っ白な、なんじゃもんじゃの並木道

知る人ぞ知る高崎の美しい並木道を紹介しちゃいます！北双葉町のハローワーク前、県営住宅北側の道路沿いにある街路樹が、毎年5月頃になると白い花をいっぱい咲かせ、まるで雪が降り積もったように見えます。この街路樹はヒトツバタゴで通称「なんじゃもんじゃ」と呼ばれます。樹木の種類に関わらずその地域で珍しい正体不明の立派な木は「なんじゃもんじゃ」と呼ばれてきたそうです。その代表がヒトツバタゴだとのこと。昭和六十三年に北双葉県営住宅建設の際、珍しい樹を植えようということで、我国で自生が貴重な「なんじゃもんじゃ」のヒトツバタゴの木が選ばれたそうです。

花は枝先に長さ5～8cmの白い円錐状の花をつけ、花びらは細長く4つに分かれています。五～六月頃に樹木いっぱいに白い花を咲かせます。この街路樹は2008年に10年ぶりに咲いて以来、毎年花を咲かせています。



2020年5月24日に撮った写真。残念ながら花を見るには遅すぎましたが、元気な緑が爽やかでした。今年こそは白い花に出会いたいです。



花が咲いたヒトツバタゴの木。花びらが弱く風で落ちやすいので、満開時の鑑賞期間が限られるそうです。



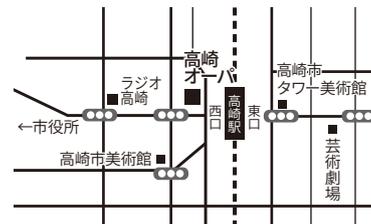
近日オープン! ピクルス・スムージーコーナーが高崎じまんにOPEN



●お問い合わせ

高崎じまん 高崎市八島町 46-1 高崎オーパ 1F 高崎駅西口
TEL.027-381-6967 [営業時間] 9:00～21:00 [休業日] なし

高崎オーパ 1Fの”高崎じまん”ではおいしいものだけでなく工芸品などまで、高崎が誇る様々な商品を扱っています。このたび「地産地消と産地直送」をテーマにしたお店が新たに「高崎じまん」に仲間入りをします。主力商品は高崎のおいしい野菜を四季折々に使ったピクルスです。野菜のおいしさを活かすことはもちろん、食材ごとに違った個性のおいしさを光らせて、食の楽しさをお届けします。



高崎市の2つの美術館と植物園の、春の展示をご紹介します

高崎市タワー美術館

JR高崎駅東口前の「高崎タワー21」内にある高崎市タワー美術館では横山大観、上村松園、平山郁夫をはじめとする近代・現代の日本画作品を紹介しています。日本画の巨匠と対峙できる空間で豊かな時を過ごせます。

〔企画展〕日本画の風雅—名都美術館名品展

4月10日(土)～6月13日(日) 休館日 4/12・19・26、5/6・10・17・24・31、6/7

優れた日本画コレクションで名高い名都美術館の所蔵作品から、上村松園・鍋木清方・伊東深水らの美しい美人画を中心に、近代・現代の巨匠による作品を展覧し、豊かな季節感に彩られた日本画の風雅をお届けします。

●入館料：一般 600円(500円)、大高生300円(250円) ※()内は20名以上の団体割引料金

●高崎市栄町3-23 高崎タワー21 ●TEL:027-330-3773

●開館時間：午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで(入館はいずれも閉館30分前まで)



伊東深水《ささやき》1959年
名都美術館蔵

高崎市美術館

高崎市美術館は近現代の高崎・群馬ゆかりの作家の作品から世界的な作家の作品まで数多くのコレクションを収蔵しています。高崎駅西口から徒歩3分と近い、気軽に立ち寄れるアートのスペースです。

〔企画展〕新収蔵・寄託作品公開 心からのおくりもの

同時開催 生誕100年 笠木實と没後30年 友人、清宮質文

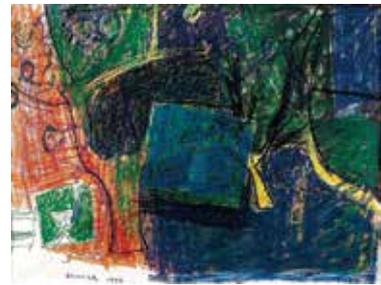
4月17日(土)～6月13日(日) 休館日 4/19・26、5/6・10・17・24・31、6/7

コレクションに近年新しく加わった10人の作家の作品を紹介する新収蔵・寄託作品展を開催します。あわせて、笠木實と清宮質文という互いに友人だった二人の画家を偲び、アーツ前橋、群馬県立近代美術館、(公財)大川美術館、そして同館の収蔵作品による「生誕100年 笠木實と没後30年 友人、清宮質文」を同時開催します。

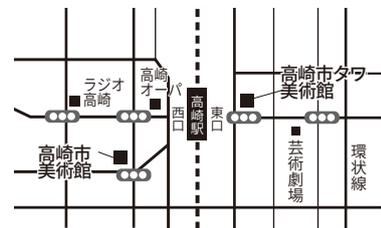
●入館料：一般 300円(200円)、大高生200円(150円) ※()内は20名以上の団体割引料金

●高崎市八島町110-27 ●TEL:027-324-612

●開館時間：午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで(入館はいずれも閉館30分前まで)



木村忠太《風景》1976年
高崎市美術館 樋口郁男コレクション



高崎市染料植物園

高崎市染料植物園は古くから伝えられてきた日本の染織文化やその魅力を多くの人々に伝えるためにつくられた植物染色のテーマパークです。園内には染料植物の道をメインに、昔から衣服などを染める原料に使われてきた代表的な染料植物が植えられています。また、温室では約20種類の亜熱帯地方の染料植物が見られます。

染色工芸館では染織品を展示し、草や木から染められるさまざまな色を見ることができます。また、草木染・藍染の講習会や染色体験では、自然の織りなす色を肌で感じ、時を超えた彩りの世界を楽しむことができます。

●高崎市寺尾町2302-11 ●TEL:027-328-6808 ●開園時間：午前9時～午後4時30分(4月～8月の土曜、日曜、祝日は午前9時～午後6時)入園は閉園の30分前まで ●休園日：月曜日・祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開園し、翌平日休園)・年末年始 ●入園料：無料 ●染色工芸館 一般100円 大高生80円(企画展中は別料金)



染料植物画譜 山崎青樹 (5月30日まで収蔵品展「草木染の美・春」で展示)



落ち着いた住宅街に現れた 絵本の世界のパン屋さん

ブランジュリー サイ

PICK UP

- プリオッシュ・オレンジ 1個 260円(税別)
- プレッツェル 1個 180円(税別)



パンの香りに誘われて

国道 17 号線倉賀野バイパスから小道を少し入った閑静な住宅街に、黄色い壁にレンガの装飾の可愛いパン屋さんがあります。お店のロゴの可愛い女の子は魔女の宅急便のパン屋さんを思わせ、ワクワクしながら扉を開くと、キキがほおづえをついて店番をしているようなカウンターには、バラエティーに富んだおもしろいパンが並び、想像通りのぬくもりに溢れた素敵なパン屋さんでした。

店主の斎藤さんは 18 年間、老舗フランスパン店であるドンクで職人として働いていた経歴の持ち主です。この場所この建物に巡り合った縁で高崎にお店を出そうと決めたとのこと。5 月でオープンから 2 年、こんな美味しいパン屋さんが高崎にあるというご縁に感謝したいです。

勝手に推しのセレクトパン

どれを見てもおもしろいようなラインナップから、今回紹介するパンを 2 つ選びました。まずは「プリオッシュ・オレンジ」。もう見た目から只者ではなく二重三重におもしろいパンです。オレンジ・カスタードとあるのでオレンジ風味のカスタードを使ったクリームパンなのかな?と思いきや、オレンジは生地に練りこまれていました。そのプリオッシュの生地はバターを他のパンより贅沢に使っているからしっとりさが長持ち。上へのったサクサクのアーモンドの粉とプリオッシュ生地のしっとり感、そして爽やかに香るオレンジがカスタードの味を引き立てます。それは味覚だけでなく五感で感じるおいしさです。

もう一点の推しのパンはプレッツェルです。塩味が効いて、太いところはふんわりもちもち、細いところはカリカリとお菓子のように食べられます。プレッツェルは今までかたくて苦いものだと

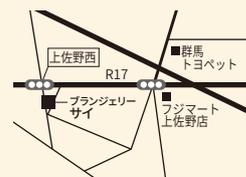
思っていたので、すっかりイメージが変わりました。食感の対比が素晴らしく、食べるのが楽しくなります。プレッツェルの褐色を出すには、本場ドイツの製法ではラウゲン溶液という取り扱いの難しい薬品を使用しますが、斎藤さんのアイデアで、日本で一般的に使用されている安全な素材にしているのだそうです。本場のプレッツェルに負けなくらい生地表面がこんがりした茶色になり、独特の風味と照りが出ます。

ここだけの味を求めて

遠方から多くのリピーターが訪れる

サイさんのパンには、香り高い小麦や噛むほどに奥深く広がる味、食感の面白さなど、こだわりがしっかりと現れているように感じます。水を使わず、良質な卵、生乳、バターを使ってしっとりとした生地は、通常の 3 ~ 4 倍の時間をかけて発酵させているそうです。オリジナルのアイデアや工夫が多く、伝統的なパンの中にもここだけの特色があるように感じました。

ご近所の方はもちろん、遠方からのお客様が多いのは、パン作りに真っ直ぐ取り組んでいる作り手の温かい人柄がおいしさに表れているからなのだと思います。まだまだ味わたったことのない美味しいパンに会えそうな、これからも楽しみなブランジュリー・サイさんです。



【ブランジュリー サイ】

- 高崎市和田多中町398-2
- TEL 027-335-6161
- 営業時間: 7:00~18:00 (売切れ次第終了)
- 定休日: 火曜日・木曜日



高崎観光協会 会報 春号 Vol.154 令和3年4月1日発行

発行 一般社団法人 高崎観光協会
高崎市八島町222(高崎モントレー2階) Tel.027-330-5333
<http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp>

制作 株式会社原人社

SPRING
2021

